

奄美大島風力発電所 竣工式を執り行う

エンジニアリング部

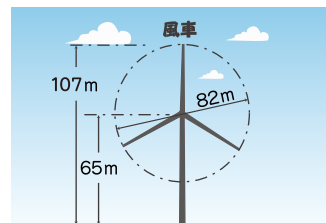
～奄美大島の新たなシンボルに～

12月22日、奄美大島風力発電所（鹿児島県奄美市）がこのほど完成し、現地で竣工式が執り行われた。式典には、奄美市の朝山市長ほか地元関係者、九州電力㈱から村上事業開発第1グループ長、福重奄美営業所長、また奄美大島風力発電㈱の社長を務める田口常務、同取締役の小島常務をはじめ関係者が出席。当社からは石井社長、吉富部長、井浦労働組合委員長ほか関係者が出席し、発電所の安全・安定稼働を祈願した。厳かに執り行われた神事に続き、直会の席上で石井社長から、工事完成の祝辞と日頃のご指導に対するお礼が述べられた。

当社と奄美市との共同出資で設立された奄美大島風力発電㈱は、平成21年4月から奄美カントリークラブ内で風力発電設備の建設を進め、定格出力1,990kWの風車1基を無事故無災害で完成した。年間発電量は約500万kWhで、約1400世帯分の電力消費量に相当。CO₂の排出量増加が懸念される中、CO₂排出量は年間約1800tの削減が見込まれ、また燃料は自然の風であり、原油換算でドラム缶年間約6000本の削減ができる見込みである。



◀謝辞を述べる田口常務



▲風車の大きさ

川内発電所長殿から表彰状を受賞

川内事業所

当所では、「安全は全てに優先する」を基本理念に、労働災害及び不適合ゼロ達成を目指し、6S（整理、整頓、清掃、清潔、躰、作法）を推進中で、品質月間の11月は、特に品質向上に努めてきました。

この様な中、当所協力会社の(有)九火バルブサービスと、メーカー指導員のABB日本ベール（株）の二人が、弁類点検中に、弁から約4m下流側配管の部品に異常があることを発見。『トラブルを未然に防止した』として、川内発電所横山所長殿から表彰状を頂きました。



▲表彰状を受賞した(有)九火バルブサービス・坂口哲朗さん(右)、左は諸正所長

現在、H21年10月16日から平成22年3月19日までの155日間をかけて、川内発電所2号機の定期修繕工事を実施中です。これを機に、マイプラント意識のさらなる醸成と、今後の機器組立作業における、より一層の品質管理に努めていくことを、事業所全員で誓い合いました。

平成21年度 福岡県勤労者知事表彰を受賞

～火力部／坂口 直輝さん～

11月27日、博多サンヒルズホテル（福岡市博多区）にて開催された、平成21年度福岡県勤労者知事表彰にて、火力部の坂口直輝さんが表彰を受けました。

この表彰は、毎年1回「勤労感謝の日」を記念して行われ、「30年以上勤続し、かつ創意工夫により生産能率の向上等に顕著な功績をあげ、他の模範になる者」に対して行われるものです。



▲受賞した坂口さん